

2026年3月期 第1四半期決算（連結）説明資料

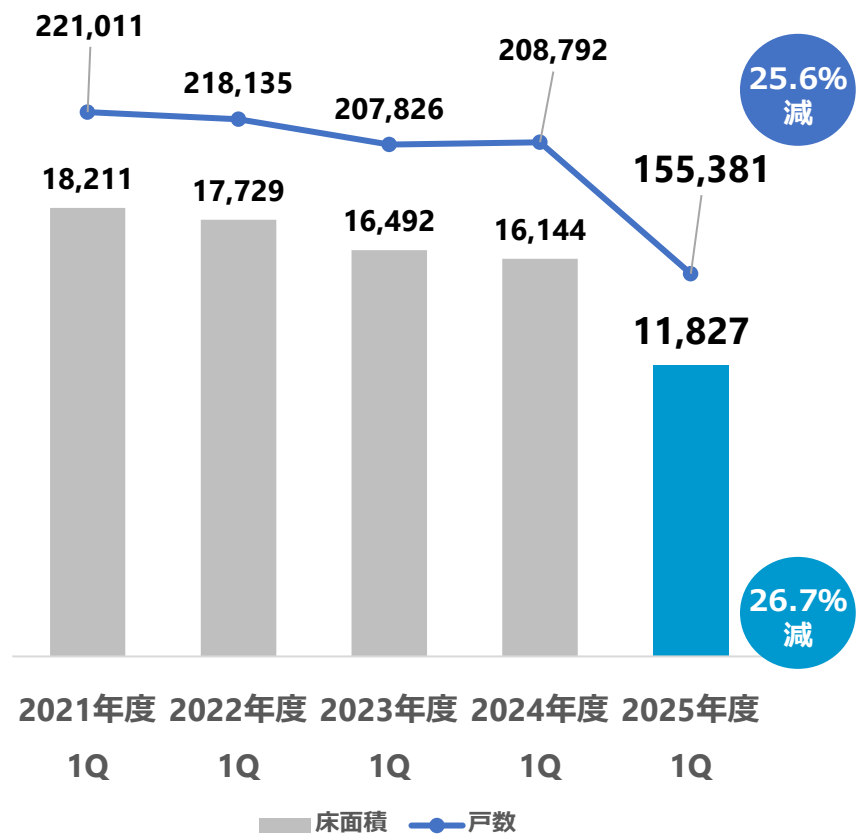


2025年8月8日
広報・IR推進室

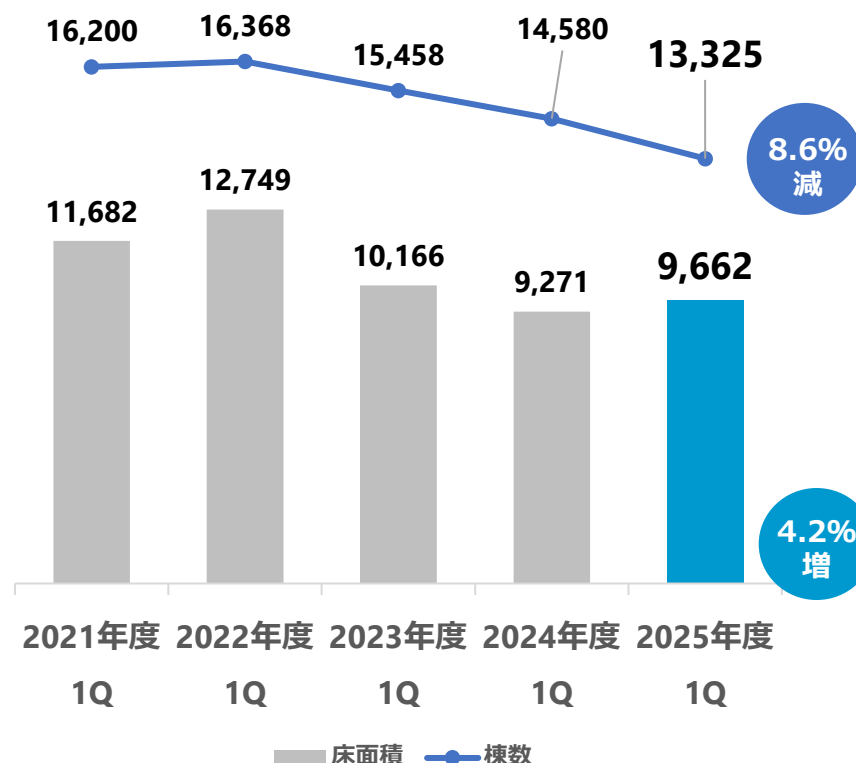
地球を、クマなく想う。 — 未来の地球を想い、今わたしたちにできることを考える。 —

新設住宅・民間非居住建築物着工数推移

新設住宅着工 (単位：戸、千㎡)



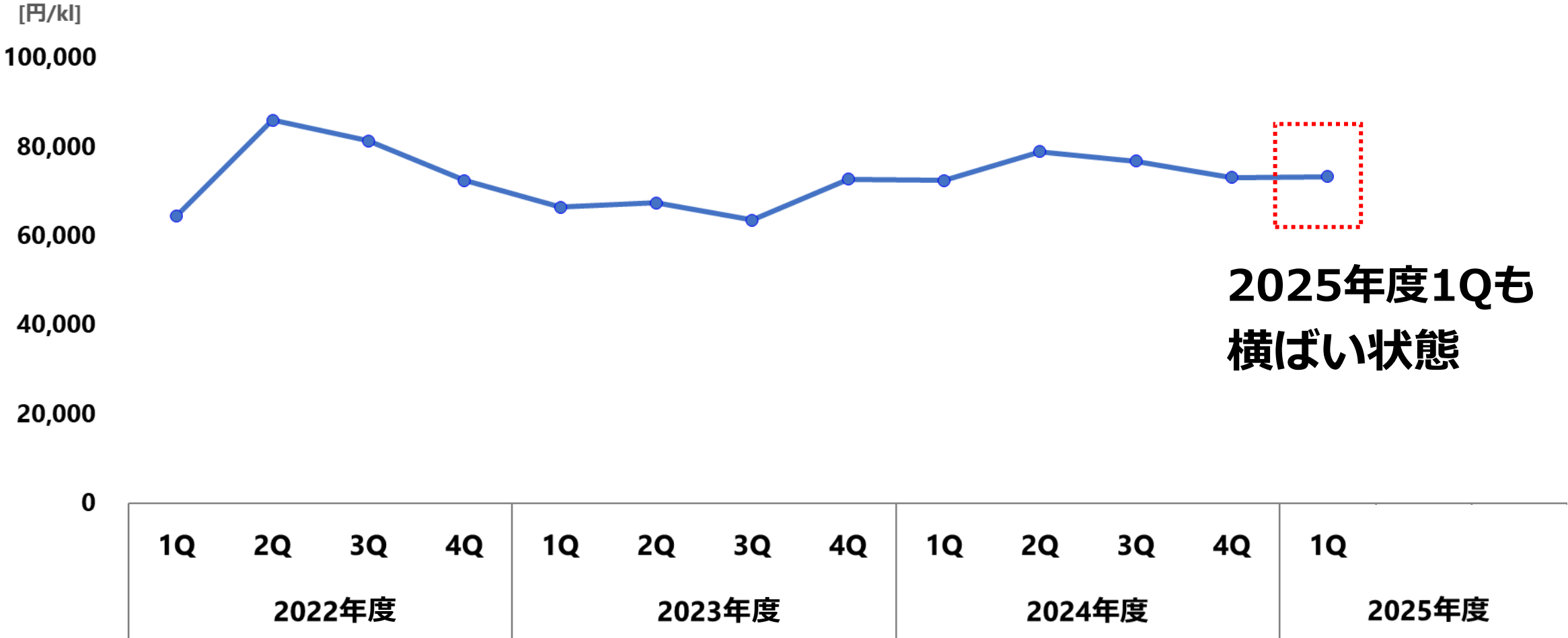
民間非居住建築物着工 (単位：棟、千㎡)



➤ 2025年4月の建築物省工不法改正による駆け込み需要の反動で、2025年度1Q新設住宅着工戸数・床面積共に前期比 減少

➤ 非住宅建築分野においては、民間非居住建築物着工数は前期比 減少、床面積は前期比 増加

ナフサ価格推移



2026年3月期 第1四半期決算概要

- 売上高・営業利益・経常利益は前年同期比を上回り、原価低減や価格改定への取り組みにより、売上総利益率は前年同期比**0.7ポイント改善**。
- 一時的な税金費用増加の影響を受け、親会社に帰属する四半期純利益は前年同期比5.0%減。

(単位：百万円)

	2025年3月期 1Q	2026年3月期 1Q	増減率
売上高	9,562	9,629	0.7%
営業利益	290	384	32.2%
経常利益	463	481	3.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	350	333	△5.0%

経営指標の推移

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
PBR	0.38倍	0.34倍	0.5倍	0.44倍
PER	10.78倍	7.9倍	10.57倍	11.15倍
ROIC	3.2%	3.7%	3.3%	3.8%
ROE	3.5%	4.5%	4.9%	4.0%
D/Eレシオ	0.028	0.028	0.034	0.03

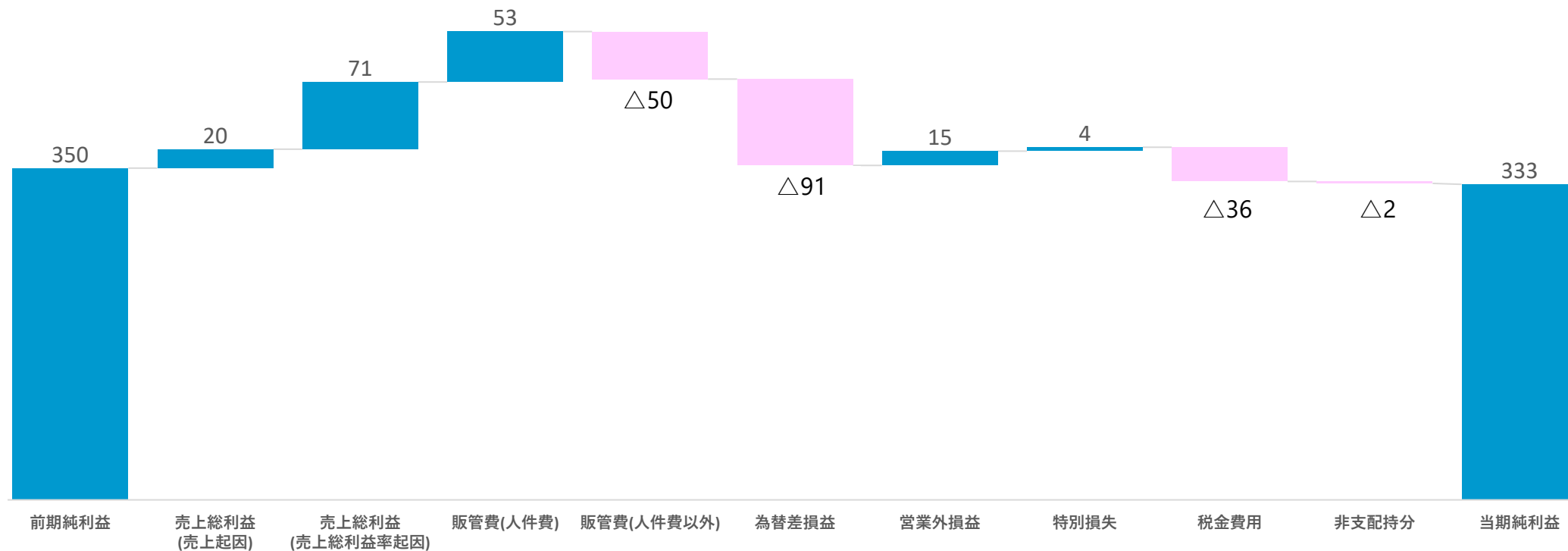
2025年3月期 1Q実績	2026年3月期 1Q実績	増減
0.46倍	0.42倍	△0.04pt
11.96倍	11.64倍	△0.32pt
2.8%	3.8%	1.0pt
3.8%	3.6%	△0.2pt
0.032	0.03	0.0pt

※各期間の当社株主に帰属する当期純利益を年率換算して算出

純利益前年比較 増減要因

- 売上が前期比0.7%・67百万円増加したことにより、20百万円売上総利益が増加
- 売上総利益率が前期比0.7ポイント上昇したことにより、71百万円売上総利益が増加
- 営業外損益：前期は為替差益69百万円、当期は為替差損23百万円と大きなマイナス要因

(単位：百万円)

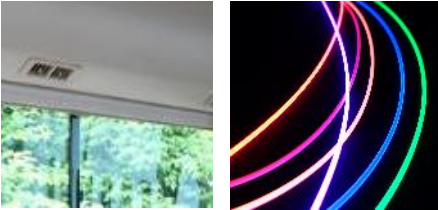


セグメント別の売上構成比

➤ 建材事業が伸び悩んだが、精密事業、グローバル事業が順調に推移し増収に貢献。

セグメントの名称	前第1四半期累計期間		当第1四半期累計期間		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
建材事業	6,171	64.5	6,104	63.4	△67	△1.1
CSE事業	2,537	26.5	2,541	26.4	5	0.2
精密事業	324	3.4	357	3.7	34	10.4
グローバル事業	809	8.5	857	8.9	47	5.9
報告セグメント計	9,841	102.9	9,860	102.4	19	0.2
その他	114	1.2	137	1.4	23	20.1
(調整額)	△393	△4.1	△368	△3.8	25	△6.3
四半期連結損益計算書 計上額	9,562	100.0	9,629	100.0	67	0.7

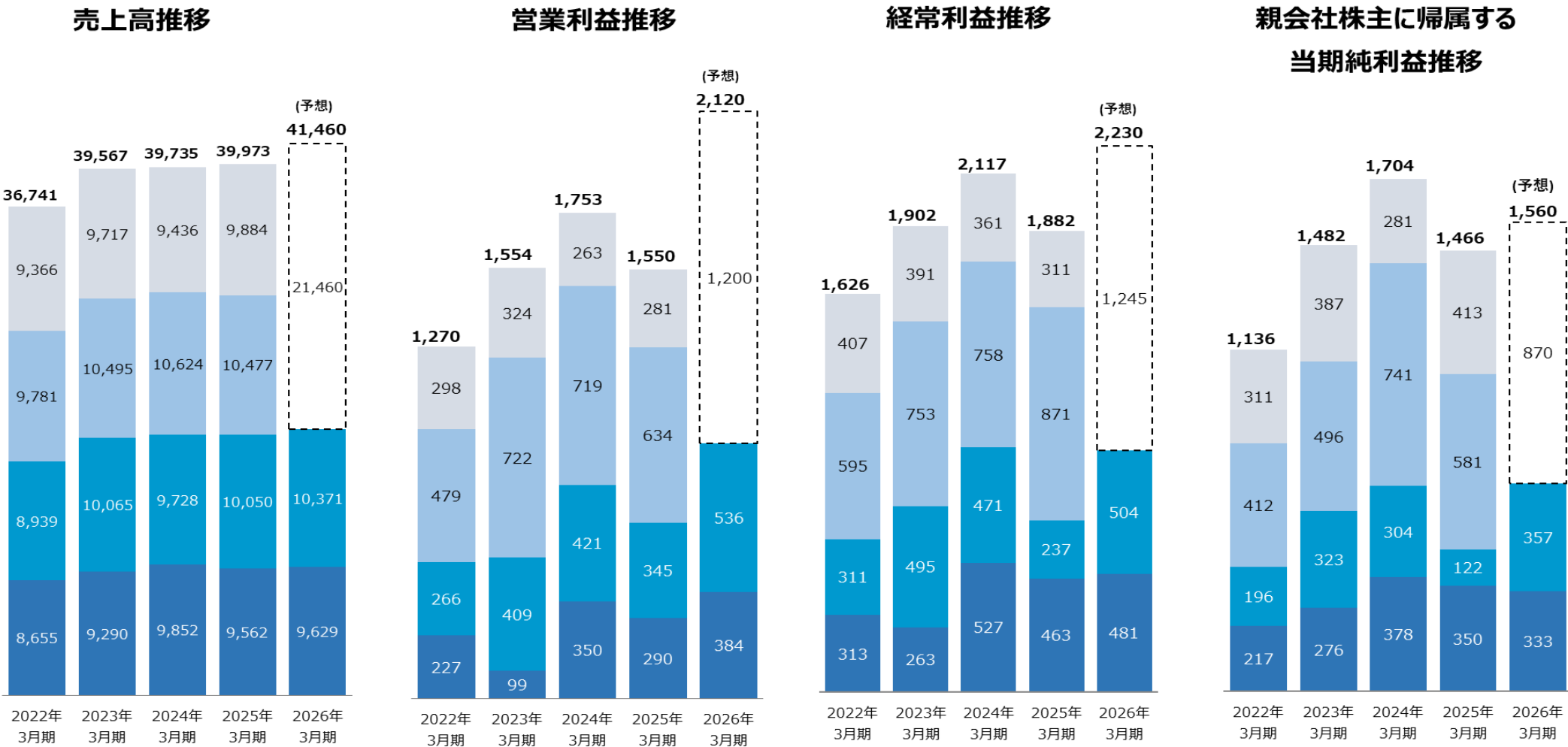
セグメント別の事業概況

セグメントの名称	事業概況
建材事業	・新設住宅着工戸数の減少傾向にあるため、汎用品の売上高が伸び悩み、中期経営計画の重点事業領域である断熱事業(前年同期比10.8%増収)、環境配慮型商品ブランド『Fukuvalue』(前年同期比6.5%増収)が順調に推移したものの、事業全体としては前年同期比1.1%の減収。 ・再生木『プラスッド』シリーズにおいて、墨流し柄による経時変化した木の意匠を施した『デッキND KKAA』（デザイン監修：隈研吾建築都市設計事務所）を発売。 
CSE事業	・床材、窓枠は新設住宅着工の低迷の影響を受けたが、非建築資材系OEM品はインバウンドの需要によりバスなどの大型車両向け部材が引き続き好調（前年同期比0.2%増収）。 ・注力製品であるイルミネーション部材『光ガイディングバー』の新規採用案件が増加。 
精密事業	・主力の車載向け反射防止材が伸び悩んでいるが、複数の新規案件の出荷を開始。 ・カメラやセンサー等の非車載分野ではエンジニアリングセールスが成果を上げ、事業全体では前年同期比10.4%の増収。 ・製造ラインにおける生産性向上に向けた継続的取り組みが収益性の改善に貢献。 
グローバル事業	・ベトナム・タイの各現法の建材ビジネスが順調に推移。 ・米国現法の建材ブランド製品も回復傾向にあり、OEM品の販売も順調（事業全体で前年同期比5.9%増収）。 

四半期ごとと業績推移と通期業績予想

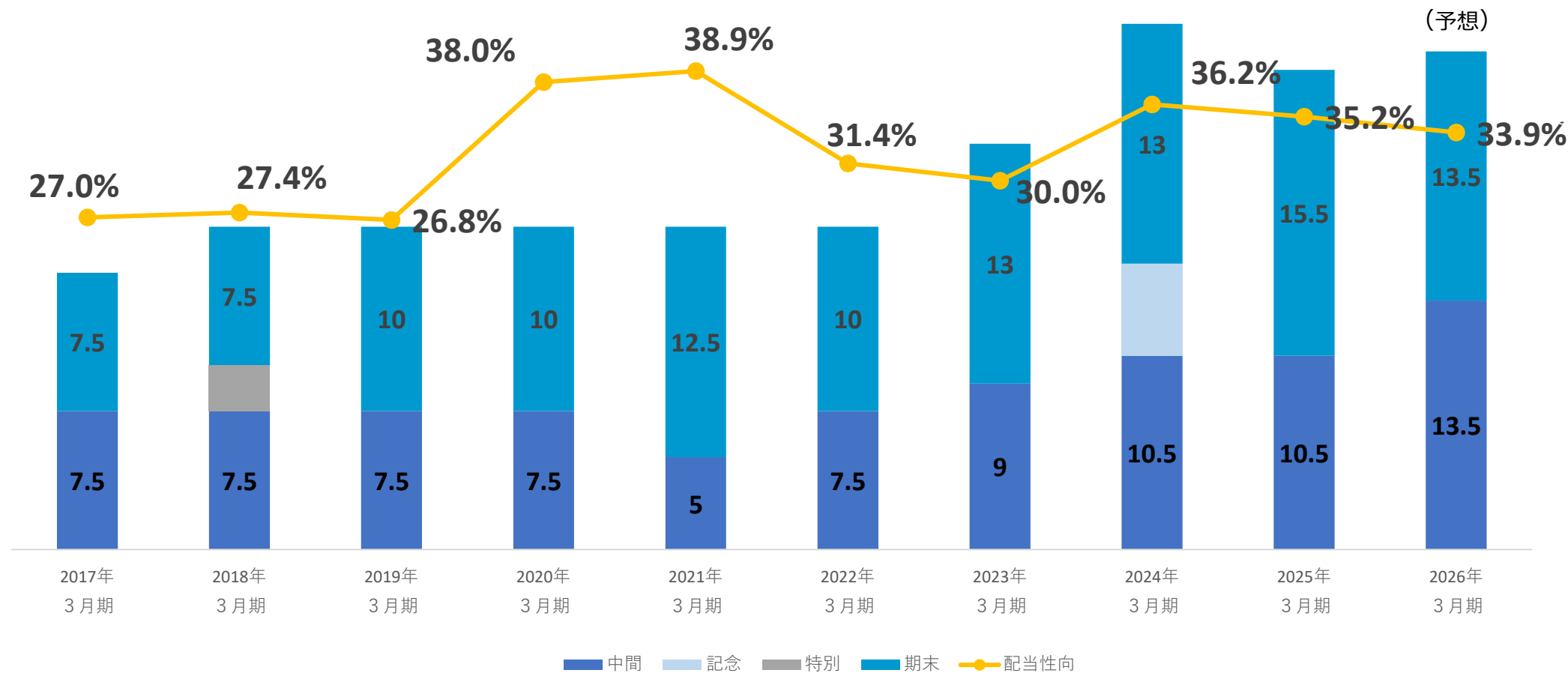
■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q

(単位：百万円)



配当の推移

- 2026年3月期は年間27円の配当（増配）を予定。
- 株主還元の充実を図るため**累進配当**を導入。



貸借対照表

- 自己資本 366億51百万円、自己資本比率 68.9%
- 純資産において、成長戦略の一環として子会社であるリフォジュール株式会社の株式を追加取得したため、非支配株主持分が3億10百万円減少。

(単位：百万円)

		2025年3月期 1Q	2026年3月期 1Q	増減	主な要因
資産	流動資産	35,454	35,204	△249	棚卸資産が75増加、売上債権が328減少
	固定資産	17,783	17,980	197	投資有価証券が164増加、無形固定資産が24増加
資産合計		53,237	53,184	△53	
負債	流動負債	13,394	13,625	231	未払法人税等が143減少、賞与引当金が269増加
	固定負債	2,323	2,293	△30	繰延税金負債が34減少
負債合計		15,717	15,918	201	
純資産合計		37,520	37,266	△254	その他有価証券評価差額が40減少、為替換算調整勘定が98増加
負債純資産合計		53,237	53,184	△53	

損益計算書

(単位：百万円)

科目	2025年 3 月期 1Q	2026年3月期 1Q	対前年同四半期 増減
売上高	9,562	9,629	67
売上原価	6,677	6,653	△24
売上総利益	2,885	2,976	91
販売費及び一般管理費	2,595	2,592	△3
営業利益	290	384	94
営業外収益	192	133	△59
営業外費用	19	36	17
経常利益	463	481	18
特別利益	—	0	0
特別損失	4	0	△4
法人税等	101	137	36
四半期純利益	358	343	△15
親会社株主に帰属する四半期純利益	350	333	△17

2026年3月期 第1四半期のトピックス

非住宅向け商品ラインナップの拡充

新商品

墨流し柄で経年劣化を表現
高意匠 再生木デッキ材『デッキND KKAA』を発売



新商品

フォークリフトや台車の衝突防止
視認性の高い『樹脂製コーナーガード』を発売



新商品

太陽光発電・蓄電で環境にやさしい
LED屋外照明灯『ルメナイト』 『ラヨビア』を発売



Lumenite



Rayovia



2026年3月期 第1四半期のトピックス

PR活動の推進

展示会

「ORGATEC TOKYO 2025」に出展

まちづくりブランド『NEURAUM』で公共空間をご提案



展示会

「BAMBOO EXPO」に出展

環境配慮型商品、手すき和紙化粧板『越柊(こしゅう)』を展示



展示会

「FOOMA JAPAN 2025」に出展

工場施設の課題解決商品としてラインナップした
「PLANTOOL」ブランド商品を展示





本資料に記載されている業績予想や将来予測等は、リスクや不確定要因を含みます。
実際の業績や結果は、様々な要因の変化により、記載の予想、計画、見通しとは大きく異なることがあります。
本資料に記載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。
当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではございません。

お問い合わせ先：経営戦略本部 広報・IR推進室 (0776-38-8415)